

北海道 プラス

〒060-0004 札幌市中央区北四条西6丁目1 毎日会館【☎】011(251)1755
【FAX】011(251)7346 広告のお申し込み、お問い合わせは【☎】011(251)1746

マンションの模型を前に笑顔の古川社長と青山千景「色紙に座右の銘「愚直」と記す



現在マンション小売り件数950

「居住者からの紹介が購入者の10%も占め、ク

「創業時、中の島にマンションを建てたのがきっかけです。その近くを札幌市内なのにホテルが

「桑園はクリーンリバー村と呼ばれたことがありました。マンションを建てたことをきっかけに、大型ショッピングモールや薬局もでき、今では住みやすい場所として定着しましたね」

「数字は単なる通過点としか考えていません。ただ、バブル時代に華やかなマンションが立ち並び、質素に真面目に、ずっと愛されるような空間をつくってきたことが生き残れた要因でしょうか。本業以外に手を出すことをしませんでした」

海外には頼らず 欠陥ゼロ目指す

見られる精進川が流れていて「きれいな川」の英訳をそのまま社名にした

0戸、まもなく1万の大台です。「東日本大震災前と比較すると倍に値上がりしましたが、マンションも倍で売れるわけにはいきません。しかし職人と言われる人が少なくなる一方なので、人件費がかかるのも事実。私らが踏ん張ることでお客さまにも満足してもらいたい。欠陥ゼロを目指す日本の良き文化を守るためにも海外の労働や資材にはあまり頼りたくないです」

21世紀のフロンティア

連載再開第2弾はマンション販売業クリーンリバーの古川浩二社長(45)。システムキッチンを日本で初めて取り入れた同社は、道内では必須の駐車場のロードヒーティングの先駆けでもある。理想の住まい追究への思いなどを熱く語ってくれた。(次回は11月8日掲載予定)

ずっと愛されるマンション提供し新時代切り開く

「東日本大震災前と比較すると倍に値上がりしましたが、マンションも倍で売れるわけにはいきません。しかし職人と言われる人が少なくなる一方なので、人件費がかかるのも事実。私らが踏ん張ることでお客さまにも満足してもらいたい。欠陥ゼロを目指す日本の良き文化を守るためにも海外の労働や資材にはあまり頼りたくないです」

「投資向け住宅は考えていません。桑園のような住む人を考えた土地開発がしたい。83年にシステムキッチンを日本で初めて取り入れました。駐車場のロードヒーティングも、この連載のタイトル通り？我が社がフロンティアです。これから新しい時代を切り開いていきたい」

「人々が集える場所を提供したかった。早朝からの掃除、受け付け業務など立ち上げから5年半、一日も休みなく現場にいました。今は別会社で兄が経営しています」

「二戸建ての良さもマンションの良さもそれぞれ。会社によっても違うので、とにかく皆さんのモデルルームに遊びにいらしてほしい。収納はどこにも負けません。その良さに気付いてくれるでしょう」

古川 浩二(ふるかわ こうじ) 1971年(昭和46)6月9日、札幌市生まれの45歳。北海道から北海学園大へ進み、92年クリーンリバーの建築、管理部門クリーンリバーマネジメント(その後合併)に入社。12年社長就任。趣味はビリヤードで、C級北海道大会優勝の腕前を持つ。今年8月、長男の偉織(いおり)

君が誕生。
青山 千景(あおやま ちかげ) 1986年(昭和61)1月17日、札幌市生まれの30歳。北海学園大卒。中学2年時にCMデビュー。07年度ミスさっぽろ。TVh旅コミ北海道に出演中。現在、3カ月の留学で鍛えた英語力のさらなるアップを目指している。

躍、2以上の長身を生か